

愛媛県伊予警察署協議会会議録
(令和7年度第2回)

日時

令和7年10月22日（水曜日）午後1時52分から午後4時10分までの間

出席者

1 警察署協議会委員 会長以下6人

2 警察署 署長以下10人

議事概要

1 会長挨拶

前回の諮問・答申につき、委員の意見が少しでも参考になっていれば幸いである。

2 署長挨拶

刑法犯の認知件数が増加するなど管内情勢は厳しいが、署員一丸となって精一杯頑張っていきたい。委員の皆様からは忌憚のない御意見をいただきたい。

3 業務推進結果の報告・業務推進計画の説明

各課長が、令和7年5月から同年8月までの業務推進結果及び令和7年9月から同年12月までの業務推進計画について説明した。

4 諮問及び答申

諮問	答申
現在の地域警察活動への意見と今後の地域警察活動の在り方	○ 地域住民にとって一番身近な「警察官」として、地域のことをより把握していただきたい。 ○ 社会情勢に応じたパトロール活動のほか、交番・駐在所における警戒活動など、犯罪の抑止力となる取組を推進していただきたい。

5 意見、質問等

【質問】

可搬式オービスを活用した速度違反の検挙基準はあるのか。

(回答)

速度規制を超過すれば違反である。速度規制を遵守し、安全に走行していただきたい。

【質問】

道路によっては幅員が広くなったりカーブが緩くなったりして道路環境が改善されているが、そういった改善により速度規制などを見直すことはあるのか。

(回答)

道路環境に応じた各種規制の見直しは必要と考える。

【質問】

高齢者を対象としたサロン等での講話は、主催者から要請があるのか。

(回答)

各地区の代表者等、主催者からの講話依頼があり、可能な限り対応している。

【意見】

回覧板等に警察署からの広報チラシが入っているが、白黒印刷だと読みづらい。予算はかかるが、手に取って読んでもらえるような工夫が必要である。

(回答)

予算面の制約もあるが、できる限りカラー刷りの広報資料を活用するなどして対応している。今後も、住民の皆様にも効果的な広報となるよう、資料作成についても工夫していきたい。

【質問】

若手警察官の研修はどのように行っているか。

(回答)

愛媛県警には、年間を通じて実務能力の向上を目的とした「若手警察官早期育成プログラム」という独自施策がある。例えば、取り扱う可能性のある想定事例が提示され、実際に現場対応をしたり捜査書類を作成したりするなどして、現場に即した訓練を行うことで、若手警察官の実務能力の向上に繋がっている。

【質問】

警察力最適化推進懇談会ではどんな提案があったのか。

(回答)

例えば、「定例研修会」といって毎月署員を招集して研修を行う機会があり、原則制服着用とされているところ、普段は私服で勤務する刑事課員等には私服での出席を許容してはどうかという意見が上がった。

【意見】

高校で交通安全に関する講話を行ったと説明があった。そのほか、中学3年生など、翌年高校に進学すれば自転車で通学する可能性が高くなる学年に対して自転車の安全な利用について講話をしてはどうか。

(回答)

交通課では年度初めに管内の中学校において自転車の安全利用に着目した交通安全教室を行っている。

来年4月から16歳以上の自転車利用者のうち一定の違反には交通反則通告制度が適用されることを受け、PTA会合の場等に赴き、これら広報を行っているが、今後は、各中学校と連携し、中学3年生のみを対象とした交通安全講話の開催も視野に進めていきたい。

【質問】

要人警護に従事する警察官の人数は決まっているのか。

(回答)

警護に従事する警察官の人数は、その時の情勢等によって異なるが、絶対安全の確保のため県警の総力を挙げて万全の態勢で臨んでいる。

安倍元総理銃撃事件を受け、警察では警護計画の見直しや二重三重の警戒などを行っている。

【要望】

警察がサイバーテロについての情報提供を含めた講話を行っているのを初めて知った。ぜひ様々な機会、場所で講話を行ってほしい。

(回答)

重要インフラの基幹システムに対する電子的な攻撃は、社会経済活動に重大な影響を与える。機密情報や技術力の流失防止のため、出前型講話を積極的に行っていきたい。

【質問】

幼稚園などでは、警察の協力を得て不審者対応訓練や交通安全教室を行っているが、これら訓練等はほかの施設でも行われているのか。また、不審者対応訓練では不審者への対応のほか、幼児への講話を行っているようだが、その一環として、例えば着ぐるみなどを活用するなどして幼児との触れ合いの時間があるとさらに効果的なものになると考える。

(回答)

主に、幼稚園、保育園、こども園などからの要請を受けて不審者対応訓練を行っているが、県警や自治体の着ぐるみを活用するなど、子どもたちにとってより効果的な内容となるよう、園と協議しながら進めていきたい。

【要望】

駅前交番にも警察相談員を配置してほしい。

(回答)

警察相談員は県の予算で人数が限られているものの、全交番に警察相談員を配置することを目指しており、警察本部では毎年のように県に要望を上げていることから、御理解いただきたい。

6 その他

警察署協議会後、民間被害者支援団体である「被害者支援センターえひめ」センター長（稲葉省三氏）によるセンターの活動内容や具体的支援事例についての講演を聴講した。

【協議会開催状況】



【視察状況（講演実施状況）】

